



とっとり

公益財団法人
鳥取県国際交流財団
Tottori Prefectural International Exchange Foundation
公益財団法人鳥取県国際交流財団

国際通信

No. 142
Mar. 2023

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN 鳥取国際通讯 Bàn tin quốc tế Tottori



表紙 Photo

“衣”文化交流会の様子(1/22)

Trying on a different culture (1/22)
“衣”文化交流会的场景(22/1)
Giáo lưu văn hóa qua “trang phục” (22/01)

目次 Contents / 目录 / Mục lục

- TPIEFだより
 - 主な事業の開催状況
 - 地域における日本語教育支援者養成講座 02
 - 医療・コミュニティ通訳ボランティア講座 02
 - “衣”文化交流会 03
 - 財団の新しい仲間の紹介 03
 - くらよし国際交流フェスティバル2022 04
 - 第34回(2022年度)タイムフェスティバル 04
 - 令和4年度 多文化共生ネットワーク連携事業 04
 - Web版「外国人のための鳥取県生活ガイドブック」 05
 - 令和5年度 国際交流フェスティバルのご案内 05
 - 日本語クラスのお知らせ 05

- 特集 鳥取県の友好提携・交流地域 06
- われら“鳥取人”^{とっとりじん} 07
- JICAデスクより 07
- 英語版・中国語版・ベトナム語版 08-09
 - ダイジェスト
 - Information in English, Chinese and Vietnamese
 - 英文版・中文版文摘・越语版
 - Bản tóm tắt bằng tiếng Anh-Hoa-Việt
- 賛助会員募集のご案内 10
- おすすめ図書コーナー 10

主な事業の開催状況

地域における日本語教育 支援者養成講座

2022年10月29日(土)、12月10日(土) 伯耆しあわせの郷(倉吉市) & オンライン

地域に暮らす外国人へ日本語学習の支援を行っている方を対象とした講座を開催しました。講座は、支援者の経験値別に2回の連続講座としました。

ボランティアを対象とした回では、日本語があまり話せない外国人へのゴミ出しルールの伝達方法をグループで話し合いながら、「やさしい日本語」でのコミュニケーションの方法を学びました。クラス講師や日本語教育の知識を有する方々を対象とした回では、講師の三原加津子先生・高橋麻子先生(一般財団法人日本国際協力センター)による模擬授業を見せていただきました。また、文型の積み上げでなく、生活場面で学習者の「できること」を増やしていく授業の進め方をグループで考える機会もあり、どちらの回もグループワークを通じ受講者同士が活発に意見交換をする姿が印象的でした。

受講者からの感想



支援者が一方的に説明するのではなく、学習者の思いに耳を傾けることが大切だと思いました。

学習者がどこで、誰に使う日本語か場面設定したうえで会話練習をすることが効果的だと気づきました。

模擬授業を見て具体的なイメージができました。



医療・コミュニティ通訳 ボランティア講座



2022年11月11日(金)、2023年1月28日(土) 県民ふれあい会館(鳥取市) & オンライン

病院や学校、行政機関の窓口などで、日本語でお困りの外国人住民と職員との会話を通訳していただく通訳ボランティアのための講座を毎年開催しています。既に通訳ボランティアとして活動している方にとってはスキルアップとして、新しく登録を検討している方には初めて受講していただく講座です。

今年度の講座は、11月を入門編、1月を応用編と位置づけ、基礎的な心構えから実践を想定した場面設定での通訳ロールプレイまで、県内外の講師にご教示いただきながら開催しました。

入門編については、日頃、通訳ボランティアの派遣を依頼される関係機関の方々にも参加いただける機会としました。講師の新居みどりさん(NPO法人国際活動市民中心CINGA)は「ユーザー教育」という言葉によって通訳を依頼する側の立場についても触れられ、現場の課題や通訳の派遣を利用する際の心構えについて皆と共有していただきました。

今年度の講座では、通訳対象言語として従前の英語、中国語、ベトナム語、タガログ語の他に、初めてタイ語とスペイン語での参加者があり、通訳ロールプレイを行いました。このように、引き続き県内でも多様化する通訳派遣のニーズに対応できるよう努めていきます。通訳ボランティアにご興味のある方、また通訳派遣のご依頼については最寄りの財団事務局までお気軽にご相談ください。

受講者からの感想



3つの「きく」(聞く・聴く・訊く)は大切!

「中立」と「介入」など学ばば学ぶほど奥が深い!

通訳ロールプレイは実際の状況がイメージできるシナリオと講師からのフィードバックが勉強になった。



“衣”文化交流会



日本で愛されている着物を知る

生活者としての外国人住民の文化を尊重しながら、日本の文化の理解も促し、相互に交流できる機会として1月22日(日)に鳥取市高齢者福祉センターで“衣”文化交流会を開催しました。

単なる着物の着付け体験ではなく、外国人住民の方に自国の民族衣装の紹介も行っていただき、まさに衣服で異なる文化の交流(衣(異)文化交流)となりました。

山野流着装鳥取県支部の先生方20名に着付けのご指導を受け、外国人住民22名の方にご参加いただきました。民族衣装の紹介に興味深く聞かれる着付けの先生方、着物を着てうれしい表情を見せる参加者の笑顔など、多くのほほえましい場面が見られ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

来年度は、このような交流事業を本格的に再開していきたいと思っております。



着物の立ち振る舞いを体験



フィリピンの伝統的な民族衣装を紹介

財団の新しい仲間の紹介

2月から常務理事に就任しております。6年10か月ぶり3回目の財団勤務で、在任期間を通算すると7年目になります。1回目が倉吉事務所の副所長、2回目が鳥取空港内の本所の事務局長、今回が県民ふれあい会館内の本所勤務ということで、職場を取り巻く環境と職務内容が毎回異なっており、このたびも思いを新たに業務にあたっているとところです。

コロナ禍で相互交流事業が中断したりして、大きな影響を受けましたが、5月には制限が緩和されるようです。早期に終息して日常生活が戻り、財団事業も計画どおり実施できることを期待しております。国際交流フェスティバルなどのイベント会場で皆様方とお会いすることを楽しみにしています。



常務理事
佐々木 満也



主な事業の開催報告

TPIEF くらよし国際交流フェスティバル2022

2022年11月20日(日) 伯耆しあわせの郷

コロナ禍で2年間開催出来なかった「くらよし国際交流フェスティバル」をついに開催することが出来ました!!
今回は例年より開催時間を1時間短くし、11時から14時の開催でしたが、始まる前から多くの来場者にお越しいただき、皆さんがこのフェスティバルを楽しみに待ってくださっていたことがよくわかりました。会場では久しぶりに会う知り合いや初めて会う方同士で話がはずんでいる様子が各部屋で見られました。持ち帰り限定の食べ物ブースも販売開始から30分程度でほぼ完売となり、相変わらずの大人気でした。



ステージパフォーマンスでもスマイルコンサート、大道芸、太極拳体験、韓国伝統芸能ブンムルノリの太鼓の演奏など多彩な内容で盛り上がっていました。

ステージパフォーマンスでもスマイルコンサート、大道芸、太極拳体験、韓国伝統芸能ブンムルノリの太鼓の演奏など多彩な内容で盛り上がっていました。

次回は今回よりも更にパワーアップしたフェスティバルを開催できるよう、参加団体の皆様と協議しながら準備していきたいと思っております。今年も楽しみにしていただいね!

TPIEF 第34回(2022年度)タイムフェスティバル

2022年11月23日(水・祝) とりぎん文化会館

「Come, Enjoy and Take Home the World ~あつまれ!世界の文化~」をテーマに開催しました。感染対策をしっかりと行いながら持ち帰り食品の出品を再開し、テーマには、「コロナ禍で海外にはなかなか行けないが、会場で体感した世界の文化を持ち帰って楽しんでほしい」という気持ちも込めました。

ベトナム、中国、インドネシア、ウクライナ等、様々な国の方々による出展20ブースと、パフォーマンス9団体によるステージがあり、来場者の方々には「何とか開催できてよかったですね。また来年も来たいです」との感想をいただきました。たくさんのボランティアの方々にもご協力いただきました。この場をお借りして再度お礼を申し上げます。



TPIEF 令和4年度 多文化共生ネットワーク連携事業



県内在住の外国出身者で構成する「多文化共生ネットワーク」では、これまで外国人が日本の文化や慣習を学びながら交流できるイベントを開催してきました。今年度は例年のようなイベントはできませんでしたが、湯梨浜町で11月27日(日)に開催された「グラウンド・ゴルフ国際交流大会YURIHAMA2022」に参加し、受付補助や通訳等の協力をさせていただきました。

当日は、青空の下、19か国およそ100名が、鳥取県発祥のスポーツを通して対面での交流を楽しみました。グラウンド・ゴルフ初体験という参加者も多く地元愛好者の皆さんのアドバイスを受けながら、皆でボールの行方に一喜一憂しました。



令和5年度

財団の主な事業紹介

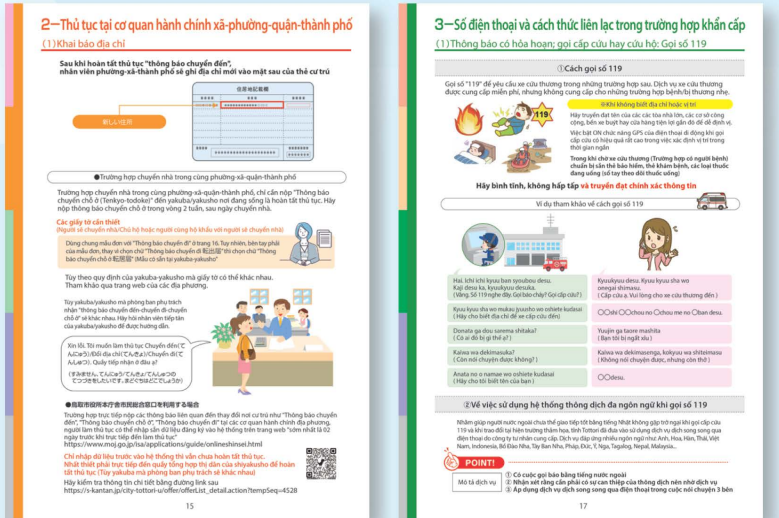
TPIEF Web版「外国人のための鳥取県生活ガイドブック」を紹介します

日本に暮らしている外国人は、日常生活・社会生活において相談先や情報入手先が分からないという問題を抱えています。これから外国人住民が増加していくことを見据えて、安心・安全に生活するためのすべての情報を多言語化することは大変困難です。

鳥取県で暮らすための重要な制度や手続きに関しては、できるだけ母国語で容易に閲覧できるよう、関係機関のご協力も得てWeb版「外国人のための鳥取県生活ガイドブック」の編集をはじめました。

まずは、県内で最も在留者数の多いベトナム語版を近日中にHPに掲載します。会話例やイラストを利用して、どの窓口に行けばいいかを分かりやすく説明しています。

今後は、自転車の乗り方、県内の公共交通機関での移動手段等、より生活に密着する情報を動画等で紹介する企画やコンテンツの拡充、英語・中国語版への展開も予定しています。



TPIEF 令和5年度国際交流フェスティバルのご案内

よなご国際交流フェスティバル2023

日付 10月1日(日)

会場 米子市文化ホール

くらよし国際交流フェスティバル2023

日付 11月12日(日)

会場 伯耆しあわせの郷

第35回(2023年度)タイムフェスティバル

日付 11月23日(木・祝)

会場 とりぎん文化会館

TPIEF 日本語クラスのお知らせ

鳥取県国際交流財団では、外国人住民への支援として「日本語クラス」を鳥取・倉吉・米子で開催しています。令和5年度は4月から新しいクラスを開催予定ですが、詳しい日程や内容等についてはホームページでご確認いただくか、最寄りの財団事務所にお問い合わせください。

また、日本語クラスのサポートをしてくださるボランティアパートナーも募集しますので、外国人住民への日本語支援に興味のある方はお問い合わせください。(※ボランティアパートナーとして活動していただくには、日本語クラス開始前に開催する研修会を受講していただきます。)



倉吉クラスの様子

